

近郊自然歩道 太田薬師コース

ルートマップ

交通機関

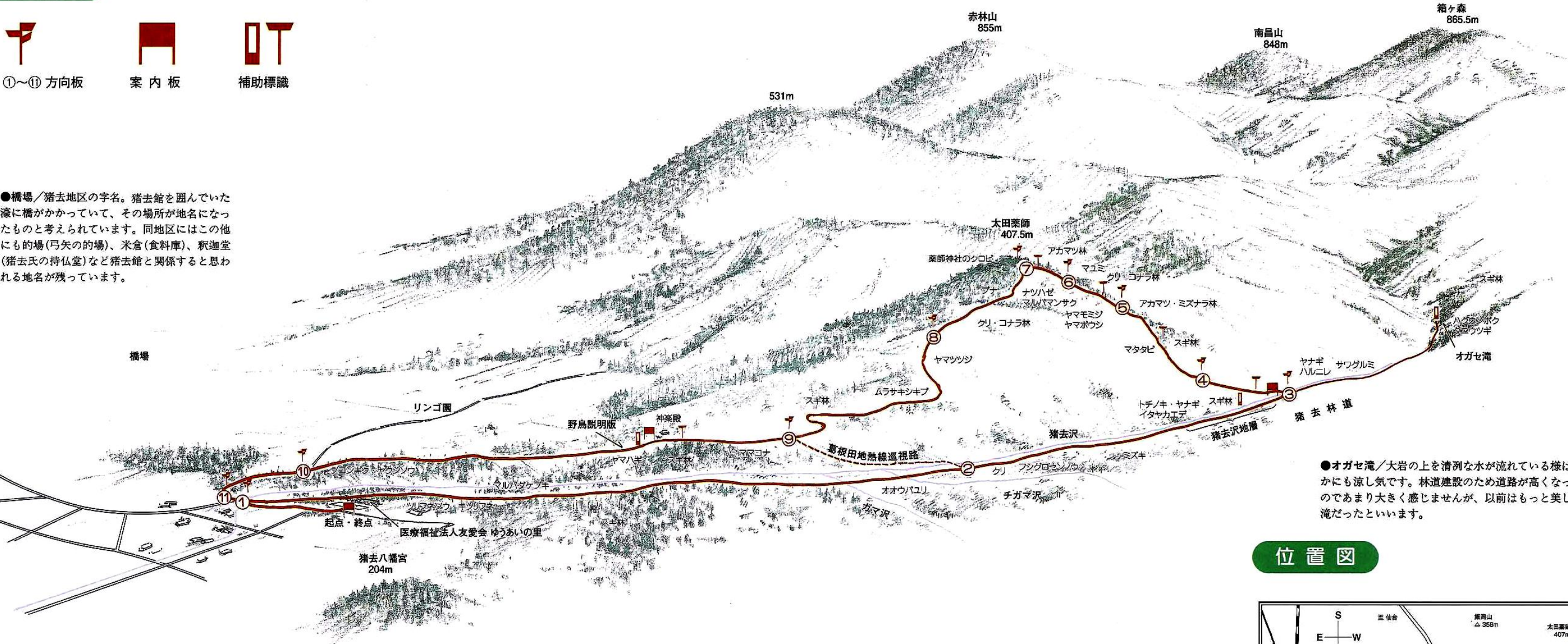
岩手県交通・太田線、太田本宮線、太田経由磐温泉線に乗りし、「上えぞ森」下車後、起点（医療法人友愛会 ゆうあいの里）まで徒歩。



凡 例



●橋場／猪去地区の字名。猪去館を囲んでいた濠に橋がかかっていて、その場所が地名になったものと考えられています。同地区にはこの他にも的場(弓矢の的場)、米倉(食料庫)、釈迦堂(猪去氏の持仏堂)など猪去館と関係すると思われる地名が残っています。



●猪去館／中世の昔、猪去地区は戦国武士猪去氏の本拠地でした。足利氏につながる斯波一族の猪去詮義が居館した猪去館は、薬師山の東寄りの裾、現在橋場と称されている丘陵頂部にありました。斯波一族の北来方方面への押さえとして築かれたこの館は、猪去御所とも称されました。この館下には、御所桜と呼ばれた直径2メートル余りの桜の太木があり、盛岡方面からも見ることができたといひます。猪去氏は、天文年間(1532年～55年)の後半から天正16年(1588年)に南部信直に攻められるまで、約40年間つづいたといひます。

●猪去八幡宮／医療法人友愛会 ゆうあいの里の北側、りんご園を隔てた切り立った小丘にあります。この小丘は、前九年の役ときに八幡太郎義家が兵を動かした陣所で、義家が腰をかけた石の上に八幡の神を祭ったものといひます。

●薬師神社のクロビ／薬師神社境内のクロビの太木。市指定天然記念物。クロビは、別名クロベ、ネズコともいい、心材が黒い樅の一種という意味です。昭和50年測定で樹高21m、直径0.77m。県下では石鳥谷町の「逆さヒバ」、釜石市鶴住神社のものに次いで三番目の太木です。なお、同境内の御神木である「猪去の大松」は樹高28m、直径1.77mで盛岡市域最大のアカマツです。

●オガセ滝／大岩の上を清冽な水が流れている様はいかにも涼し気です。林道建設のため道路が高くなったのであまり大きく感じませんが、以前はもっと美しい滝だったといひます。

位置図

